



250

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年2月16日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

サッカー・都並敏史さん「選手の可能性を引き出す」

16日(日)＝1、3面

迫る



その激しいプレーから、「狂気の左サイドバック」と称された元サッカー日本代表、都並敏史さん(63)＝写真。Jリーグ・ヴェルディ川崎でのプレーをご記憶の方も多いでしょう。今は日本フット

ボールリーグ(JFL)所属の「ブリオベッカ浦安・市川」の監督を務め、現在7季目となります。J3昇格に向け、選手やコーチとコミュニケーションを取りながら、チームの指揮をとっています。練習や試合の準備や後片付けを率先してこなし、またスポンサー集めにも奔走しています。

都並さんの現役時代の活躍は輝かしいものでしたが、引退後に就任したJリーグの監督では3度も解任される、という挫折を経験しました。

セレッソ大阪の監督時代、目を

かけて指導していた選手がいました。が、なかなか芽が出ず、活躍できませんでした。しかし都並さんの退任後、新監督のもとでいきいきと活躍を始めたのです。都並さんは思いきってその選手に連絡を取り、尋ねました。「なぜできるようになったのか教えてくれ」と。すると返ってきた答えは――。

その「回答」は都並さんの考えを大きく変え、現在のチームづくりの原点になっているといいます。

蛍光灯の製造・輸出入禁止

16日(日)＝総合面



約1世紀にわたって家庭やオフィスを照らしてきた蛍光灯＝写真＝の製造、輸出入が2027年末までに禁止されます。水銀を使った製品の製造を規制する国際ルールを守るためです。

現在、使っている蛍光

灯は使い続けられるのでしょうか。蛍光灯をLEDなどに交換する場合、注意すべき点は？さまざまな疑問をまとめました。

日本で使われた意外な蛍光灯「第1号」など、歴史も振り返ります。



気候変動は、人類が直面する最大の危機だとされます。2024年の世界の平均気温は産業革命前から1.6度上昇し、国際社会の目標である「1.5度」を初めて超えました。米ロサンゼルス山の山火

論点

「神への挑戦」気候変動

19日(水)＝オピニオン面

事など、自然災害は激甚化しています。経済成長に伴い、温室効果ガスの排出は増え続けるばかりです。「地球沸騰時代」を生き抜くすべはあるのでしょうか。

特集 **ワイド**

「串から抜かないで」

17日(月)＝夕刊2面

焼き鳥店主が本気で怒るその理由



焼き鳥を串から外すか、否か。そんな飲み会の作法がしばしば議論を呼びます。全員に行き渡るように肉を配りたい、あるいは、串にかぶりつきたくないという人もいるようです。しかし、東京・新橋

に「串を抜くたびに値段が上がる」と警告する焼き鳥屋があります。

なぜそこまでののか、店主に理由と意思を尋ねました。そしてマナーの専門家が提案する「解決策」とは……。

竹橋の窓辺から

編集後記



第97回選抜高校野球大会(毎日新聞社、日本高校野球連盟主催)の開幕まで、約1か月となりました。毎日新聞のニュースサイトでは、各校を取り上げた記事が連日アップされています。応援している学校はもちろん、応援したくなる学校が見つかるかもしれません。センバツファン必見です。QRコードからぜひ特集ページをチェックしてみてください。(長尾真央)



毎日新聞